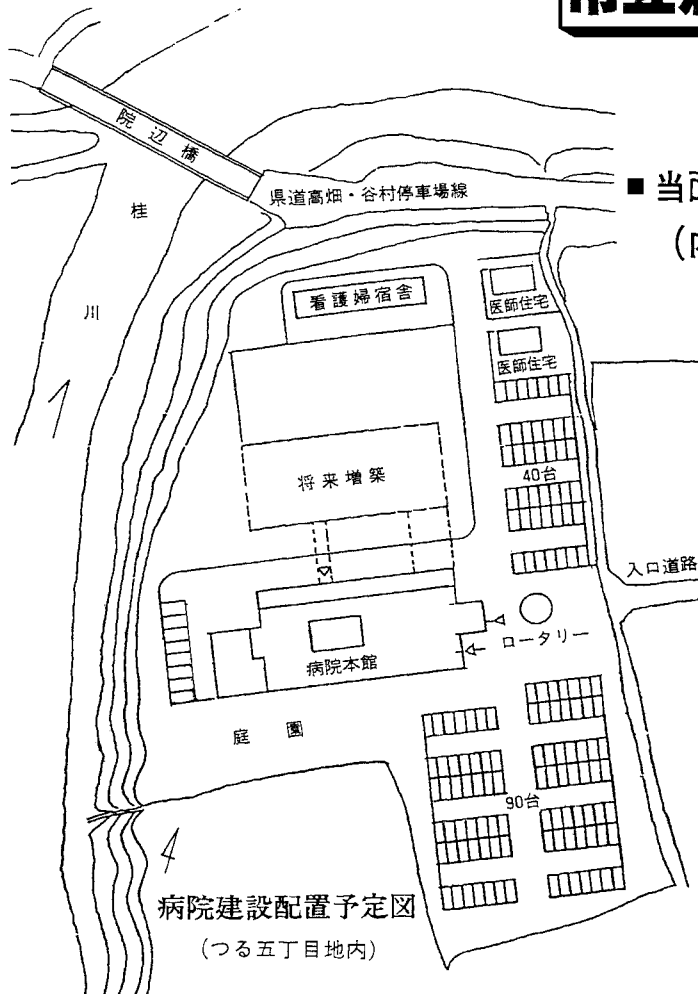


市立病院 62年12月 オープン目標に！



■当面は四科目

(内科, 外科, 整形外科, 小児科)

このほど都留市医療整備審議会(功刀 潔会長)から市立病院設立基本構想に関する調査報告書の審議結果が市にだされ、いよいよ昭和六十二年開院を目途に計画的に推進することになりました。

市民待望の市立病院建設について、昭和五十六年八月都留市医療整備審議会から「市立病院建設計画に関する答申」がなされましたが、国および県より行政改革に関する指針等が示されました。この指針

に添うべく市の財政、医療実情等を考慮し、市民医療の確保充実を図るための検討を続けてまいりました。

昭和五十九年一月三十一日開催の医療整備審議会において、市の実情に即した規模等の見直しをすべきであるとの提言をいただきました。さらに昭和六十年三月市議会において、公立方式導入の再確認がなされました。

この方向づけを踏まえ、都留市立病院(仮称)設立基本

構想を策定し、昭和六十年六月十日に医療整備審議会に諮り、九月五日医療整備審議会長より構想に関する調査報告書の審議結果がなされました。又、本九月定例会市議会において、市長所信表明の中で審議結果を報告しました。

市立病院基本 構想の概要

一、病院の性格

循環器系内科を中心とした市民医療の確保、三次医療については、県内の高機能病院との連携を保ち、併せて予防医療の対処が図られる保健センターとしての将来構想に位置づける。

二、規模及び診療科目

当面は、六十床とし、将来的には百八十床程度を目標とする。診療科目は、内科・外科・整形外科・小児科の四科目とし、必要に応じてパパート医師による専門外来及びリハビリテーション等施設の充足も図る。

三、建設位置及び施設規模

都留市つる五丁目地内
敷地面積 一、九二九㎡
病院本館 鉄筋コンクリート造、二階建
延床面積 二、四一一㎡
医師住宅(二戸) 一六〇㎡
看護婦宿舎(六室) 二四〇㎡

病院開院までの 主な準備事項

- 昭和60年4月 病院建設基本構想策定
- 昭和60年6月～8月 医療整備審議会において基本構想を審議
- 昭和61年3月 病院長、婦長の内定
設計図完成
- 昭和61年4月 病院建設事業起債計画、病院開設許可申請の提出
- 昭和61年10月 建設工事着工
- 昭和62年7月 本体工事完成
- 昭和62年11月 内部設備完成
- 昭和62年12月 開院